

クロマグロの資源管理に関する支援対策

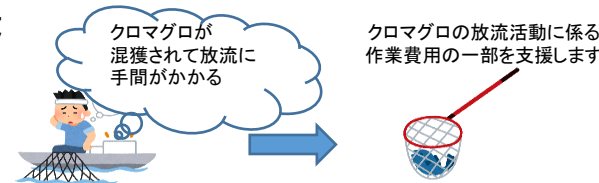
中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)の国際約束に基づくクロマグロの漁獲上限の遵守が課題となっている中、魚種選択性の低い定置網漁業等において、経営への影響を最小化しつつ、安心して資源管理に取り組める環境を整備します。

クロマグロの混獲回避の取組に対する支援

定置網漁業等の安定的な操業を確保するため、

(1)クロマグロの混獲回避の取組(放流作業)を支援(定額)

・1人1日当たり3,000円を支援



※令和6・7年度補正による拡充

補助対象		上限額
定置網漁業 (1ヵ統当たり)	(1) 太平洋クロマグロの資源管理に伴う混獲回避用の機器等を用いて資源評価・管理又は漁場環境把握の高度化に資するデータを収集し、資源研究機関等に提供する場合	400万円
	(2) (1)を除きクロマグロの放流の情報を報告する場合	150万円
	①次のいずれかの要件に該当する場合 ア 各県に割り当てられたクロマグロの漁獲枠のうち8割を超過して漁獲した場合 イ 各漁業者グループが事業計画提出時に設定した漁獲目標のうち8割を超過して漁獲した場合	150万円
20トン未満の漁船漁業(1隻当たり)		100万円
		30万円

(2)クロマグロの混獲回避のために必要な経費を支援

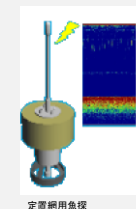
(1/2補助)

- ①機器の導入に要する経費
- ②漁具の改良に要する経費
- ③一時的な漁法の転換に要する経費

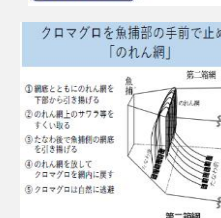
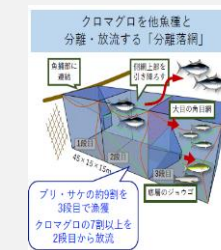
・定置: 上限 350万円(700万円の1/2)
・漁船漁業: 上限 100万円(200万円の1/2)

(イメージ)

①機器導入



②漁具改良



③漁法転換



クロマグロが混獲されにくい漁業へ転換